

株主メモ

事業年度	毎年2月21日から翌年2月20日まで
定時株主総会	毎年5月開催
基準日	定時株主総会・期末配当金／毎年2月20日 中間配当金／毎年8月20日
公告方法	そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日 電子公告により行ないます。 http://www.palemo.co.jp/ ※事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告を することができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

以前は、旧株式会社鈴丹の株主様の特別口座に関するご照会先は、三菱UFJ
信託銀行株式会社でしたが、三井住友信託銀行株式会社に変わりました。

株主名簿管理人
愛知県名古屋市中区栄三丁目15番33号
事務取扱場所
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先
〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先
☎ 0120-782-031

株主優待

株主の皆様方のご支援に対する感謝の印といたしまして、毎年2月20日現在の株主名簿に記載された300株以上保有の株主の皆様方に対し、下記のとおり株主様ご優待品を進呈いたしております。



300株以上	1,000株未満	1,000円のクオカード
1,000株以上		3,000円相当のカタログギフト

愛知県ファミリー・フレンドリー企業登録



登録年月日 平成 20 年 2 月 15 日
登録番号 C 0 0 2 4

仕事と生活の調和のとれた働き方ができる職場環境づくりに取り組む
愛知県ファミリー・フレンドリー企業として登録いたしました。

上場株式等の配当等に係る10%（所得税7%、住民税3%）
軽減税率の廃止について

2014年1月1日から上場株式等の配当等に係る10%軽減税率（所得税7%、住民税3%）は廃止され、本来の税率である20%（所得税15%、住民税5%）となりました。
これにより、2014年1月1日から2037年12月31日までは「復興特別所得税」を含め20.315%の源泉徴収税率が適用されます。

株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。
証券会社の口座のご利用がない株主様は、左記電話照会先までご連絡ください。

特別口座について

株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である左記の三井住友信託銀行株式会社に口座（特別口座といいます。）を開設しております。

株式関係業務におけるマイナンバーの利用

法令に定められたとおり、支払調書には株主様のマイナンバーを記載し、税務署へ提出いたします。
[主な支払調書]
★配当金に関する支払調書
★単元未満株式の買取請求など株式の譲渡取引に関する支払調書
マイナンバーの利用範囲には株式の税務関係手続きも含まれます。
株主様は、お取引の証券会社等へマイナンバーをお届けください。

～Doing it～

皆様の豊かさ・成長・満足の実現のために



第35期 第2四半期報告書
[2019.2.21.～2019.8.20.]



パレモ・ホールディングス株式会社

証券コード:2778



パレモHDの新たな成長に向け、 グループの総力を結集してまいります

今期は2021年2月期を最終年度とした「中期経営計画」の折り返し地点であり、基幹事業における収益の安定化に向け、MD精度の向上、商品供給の最適化を進めるとともに、増収増益基盤の構築に向け、新規出店の拡大並びにEC事業（ネット通販）への対応強化に注力してまいりました。また2019年3月26日には東京証券取引所市場第二部への市場変更並びに名古屋証券取引所市場第二部への新規上場、そして7月8日には名古屋市へ本社を移転するなど、新たな成長に向けたグループ経営の基盤構築に努めてまいりました。

代表取締役社長 吉田 馨

指針

正しい経営	ローコスト経営
安定成長	人財経営

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。当社グループ第35期第2四半期報告書をお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

この第35期第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用情勢や所得環境の改善が継続する中、企業収益も底堅く推移するなど、景気は緩やかな回復基調が続きました。一方、欧州や中国などの海外経済が減速する中、米中貿易摩擦の長期化に加え、戦後最悪と言われる日韓関係の悪化に伴い、景気の先行きにおきましては不透明感が強まる状況となりました。

当社グループが属する専門店業界におきましては、訪日外国人の増加に伴うインバウンド需要の拡大が継続するも、業界全体では少子高齢化、人口減少社会を背景に国内市場は縮小傾向が続いており、依然として厳しい事業環境が続きました。

このような環境の中、当社グループにおきましては、2021年2月期を最終年度とした中期経営計画に則り、今後のグループ全体の成長を実現すべく、アパレル事業におきましては、トレンド商品への取り組み強化、気温や気候の変動に応じた機動的な商品供給を進めるなどし、基幹事業の競争力向上に努めてまいりました。また雑貨事業におきましては、300円均一ショップの新規出店を加速し、新たな基幹事業へと育て上げるほか、

ネット通販事業におきましても自社サイトでの販売を大きく伸ばすなど、成長エンジンの創出にも努めてまいりました。

下半期におきましては、期中での対応力、修正力を活かし、基幹事業における収益の安定化及び新規出店の拡大並びにネット通販事業の収益拡大に注力するとともに、引き続きローコスト経営による営業費の削減に努め、今期目標に掲げた増収増益を目指してまいります。

今後も当社グループにおきましては、引き続き企業の社会的使命を重視するとともに、企業統治並びにコンプライアンス体制の強化など、企業の質的向上にも努めてまいります。

なお、今期より当社グループは、利益配分に関する基本方針として、将来の事業拡大のための投資と経営体質強化のための内部留保の確保とのバランスを総合的に判断し、より機動的な配当政策を実施することに変更致しました。この方針のもと、中間配当につきましては、1株につき6円（年間12円の予定）とさせて頂きました。引き続き業績の向上に努め、株主の皆様へ還元できるよう増配を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、当社グループの事業戦略に、より一層のご理解とご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

Q1 当第2四半期連結累計期間の 業績についてお聞かせください

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高125億6百万円（前年同期比5.9%増）、営業利益6億34百万円（前年同期比10.0%増）、経常利益6億25百万円（前年同期比6.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益5億32百万円（前年同期比1.0%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間のアパレル事業におきましては、7月期の長梅雨、日照不足などで一時的な苦戦は見られましたが、期間を通してワンピースを中心としたトレンド商品や、季節に合わせた羽織物などの実需商品が堅調に推移するほか、10連休となったゴールデンウィーク期間中での改元セールでも売上を伸ばすことができました。

一方、雑貨事業におきましては、300円均一雑貨の「illusie300（イルーシーサンマルマル）」を新規で14店舗出店し大幅な増収となりましたが、バラエティ雑貨業態やバッグ業態などは苦戦が続くなど、一進一退の状況で推移しました。

Q2 中期経営計画の進捗と、下半期の 施策についてお聞かせください

現行の中期経営計画は、2021年2月期を最終年度とした3か年計画で、ちょうど折り返し地点となりましたが、引き続き「基幹事業の競争力向上」、「成長エンジンの創出」、「安定成長に向けた人財戦略」の3つの基本テーマに則り、その諸施策に取り組んでおります。

「基幹事業の競争力向上」につきましては、アパレル事業のレギュラーサイズ業態で取り組んでいる、ファッショントレンド商品と実需商品の品揃え最適化並びに、QR（クイックレスポンス）生産による機動的な商品調達機能が機能したことで収益改善が進んでいる一方で、ラージサイズ業態では、シーズンMD（マーチャングダイジング）が安定せず、品揃えのバランスが崩れる局面が見られるなどの課題が残りました。また雑貨事業のバラエティ雑貨業態では、ヒット商品に恵まれない中で商品鮮度の改善が進まず苦戦が続く結果となりました。

「成長エンジンの創出」につきましては、3か年で60店舗の店舗数増を目標としている中、折り返し地点で11店舗増にとどまっていますが、出店物件の精査を慎重に行っている結果であり、スク

このような状況から、全社の既存店売上高前年同期比は98.8%にとどまりました。

利益面におきましては、バラエティ雑貨業態の業績が低調に推移したことで、売上総利益率は前年を若干下回る結果となりましたが、アパレル事業で既存店が伸長したことに加え、雑貨事業の「illusie300」の新設店も含めた業績が堅調であったことから、売上高が前年同期比5.9%増となり経費率で前年同期比0.3%の改善に繋がりました。これに伴い、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益のいずれも増益となりました。

店舗の出退店におきましては、新規出店は「illusie300」を中心に21店舗となる一方で、定期賃貸借契約満了となった店舗のほか急激な商環境の悪化やバラエティ雑貨業態の苦戦から不採算となった店舗など19店舗を退店した結果、当第2四半期末店舗数は480店舗となりました。今期も引き続き新規出店につきましては、物件を慎重に精査していることから出店の精度は高まっており、今後もアパレル事業の「Ludic Park（ルディックパーク）」並びに雑貨事業の「illusie300」を柱として積極的に出店拡大し増収増益基盤の構築に努めてまいります。

ラップ&ビルドによる増収への貢献度は高まってきております。特に雑貨事業の300円均一雑貨である「illusie300（イルーシーサンマルマル）」は当初計画に掲げた店舗数をすでに上回り、バラエティ雑貨業態に代わる基幹事業へと成長を遂げています。

「安定成長に向けた人財戦略」につきましては、前期から新卒採用並びに幹部候補の中途採用に加え、新規出店に必要なスタッフを既存店舗で確保する施策など、成長に必要な人財の確保に努めてまいりました。またパートタイマーから地域社員、地域社員から正社員などの雇用区分変更も積極的に希望者を募り、人財の質的向上に向けた取り組みも進めてまいりました。

以上のような中期経営計画の進捗を踏まえ、この下半期以降におきましても引き続き、基幹事業でのシーズン、トレンド、実需等のバランスを踏まえた価値ある商品の提供を強化することで、10月に実施されました消費税10%への増税後も、お客様から支持されるお店づくりに全力で取り組んでおります。また増収増益を前提に「成長」を目的とした中期経営計画の最終年度である2021年2月期の目標達成に向け、「新規出店」の拡大を更に加速させるとともに、ネット通販事業におきましても新たな販路拡大にチャレンジするなどし、引き続き全社グループをあげて永続的安定成長を実現させてまいります。



アパレル事業の概況

アパレル事業におきましては、基幹事業の競争力向上を目的にシーズンMD(マーチャンダイジング)の精度向上並びに在庫の最適化に注力し、収益の安定化が図られました。これにより既存店売上高前年同期比も前年を伸長しており、確かな手応えを実感しております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、幅広い顧客のニーズに対応した主力ブランドの「Ludic Park(ルディックパーク)」2店舗の出店にとどまりましたが、この下半期には「Ludic Park」を含め新規出店が予定されており、目標である増収増益への基盤構築に向け着実に出店を加速していく考えであります。

ルディックパーク

Ludic Park

遊び心を程よく取り入れた自分らしいファッションを、楽しくセレクトできるショップです。エレガンス・クール・カジュアルまで幅広い客層へ向けた最新トレンドと、着まわしのきくベーシックアイテムをお手頃プライスで提案します。

リルデシュシュ

Lilou de chouchou

いつまでもかわいく輝いていたい女性に向けて、毎日のHAPPYを演出します。エレガンスをベースに程よくトレンドを織り交ぜながらON&OFFあらゆるシーンも自分らしく楽しめる上品で女性らしいファッションを提案します。

デイジーメリー

DAISY MERRY

大人の心と少女の心を持ち合わせたいいつになってもかわいくオシャレでいたい女性に向けて…かわいだけでなく、どこかボーイッシュ、ほんのりガーリーと、遊び心を取り入れた今欲しいリアルクローズを手頃なプライスで提案します。

ギャルフィット

GAL FIT

「フェミニン&クール」をテーマに、リラックス感のあるカジュアルスタイルとエッジの効いたモードスタイルを提案します。

スズタン

suzutan

「エレガンス&フェミニン」をテーマに、幅広い客層へ最新トレンドと着まわしのきくベーシックアイテムを提案します。

リシェリエ

Recherie

「フェミニン」をキーワードに、ベーシックでリラックス感のある大人のカジュアルスタイルを提案します。

リジェイ・スプル

Re-J

「デイリー&リラックス」をテーマに、ベーシックアイテムとシーズントレンドを程よくMIXした“大人カジュアル”を提案するラージサイズSHOPです。

SUPURE

「フェミニン&カジュアル」をテーマに、上品さと着心地を大切にしたラージサイズSHOPです。



雑貨事業の概況

雑貨事業におきましては、300円均一雑貨の「illusive300(イルーシーサンマルマル)」が、中期経営計画策定時の想定より早いスピードで出店拡大が進んでおり、雑貨事業全体の売上を牽引するまでに成長しました。

当第2四半期連結累計期間におきましては、「illusive300」

イルーシーサンマルマル

illusive300

「日常に彩り」をテーマに、300円のプチプライスでライフスタイルを提案します。

木糸土・ハレノヒ

木糸土

木・糸・土の素材を活かし、「無理なく、無駄なく」をコンセプトに、シンプルで飽きのこない生活雑貨を提案します。

Hare no hi

「ナチュラルライフ」をテーマに、アパレル、雑貨をトータルにコーディネート。ライフスタイルを提案します。

アパレル事業ブランド別の状況					(単位:店舗)
	出店	退店	ブランド転換	当第2四半期末店舗数	
レギュラー店舗	2	9	△1	260	
ルディックパーク、9スクエア	2	0	0	31	
リルデシュシュ	0	0	0	9	
デイジーメリー	0	0	0	4	
リシェリエ、ドスチ	0	2	0	36	
ギャルフィット・スズタン他	0	7	△1	180	
ラージサイズ店舗	0	1	0	38	
アパレル事業合計	2	10	△1	298	

14店舗、「木糸土(もくしど)・Hare no hi(ハレノヒ)」4店舗、「Siebelet(シーベレット)」1店舗を出店しております。この下半期におきましても、「illusive300」の出店拡大が予定されていることから、更なるMDの精度向上と商品供給並びに人員体制の拡充に注力してまいります。

インセンス

INCENSE

「MY BAGを探す楽しさや、見つけた時の喜びを共有できるBAG SHOP」。自分のスタイルを確立した大人の男女に、「オンリーワン」のバッグを提案します。

シーベレット

Siebelet

「毎日、楽しく」をテーマに、話題性あるファンシー雑貨と生活雑貨を提案します。

雑貨事業ブランド別の状況					(単位:店舗)
	出店	退店	ブランド転換	当第2四半期末店舗数	
イルーシー300	14	1	1	71	
シーベレット	1	6	1	50	
インセンス	0	2	0	30	
木糸土・ハレノヒ	4	0	△2	16	
雑貨事業合計	19	9	0	167	
複合店(※)	0	0	1	15	
全社合計	21	19	0	480	

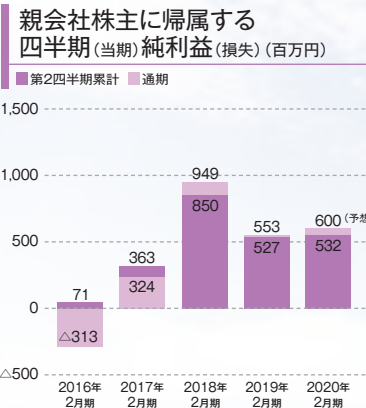
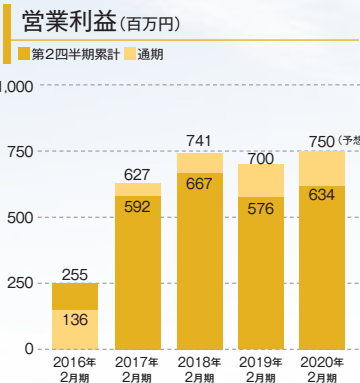
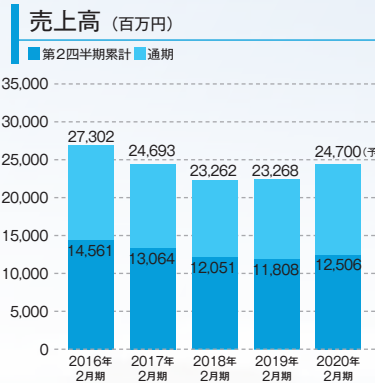
(※) 複合店とは、アパレル事業、雑貨事業のブランドを複数合わせた店舗です。

Financial Statements

四半期連結財務諸表

四半期連結貸借対照表			
(単位:百万円)			
	当第2四半期連結会計期間末 (2019年8月20日現在)	前第2四半期連結会計期間末 (2018年8月20日現在)	前連結会計年度 (2019年2月20日現在)
■資産の部			
流動資産	6,057	5,918	5,496
固定資産	5,971	5,552	5,831
有形固定資産	1,307	990	1,140
無形固定資産	30	11	33
投資その他の資産	4,633	4,549	4,656
資産合計	12,029	11,470	11,328
■負債の部			
流動負債	6,172	5,393	5,921
固定負債	1,834	2,555	1,884
負債合計	8,006	7,949	7,805
■純資産の部			
株主資本	4,003	3,516	3,506
資本金	100	100	100
資本剰余金	1,979	1,979	1,979
利益剰余金	1,927	1,440	1,430
自己株式	△3	△3	△3
新株予約権	19	5	15
純資産合計	4,022	3,521	3,522
負債及び純資産合計	12,029	11,470	11,328

四半期連結キャッシュ・フロー計算書			
(単位:百万円)			
	当第2四半期連結累計期間 〔2019年2月21日から 2019年8月20日まで〕	前第2四半期連結累計期間 〔2018年2月21日から 2018年8月20日まで〕	
③ 営業活動によるキャッシュ・フロー	158	206	
④ 投資活動によるキャッシュ・フロー	△236	△406	
⑤ 財務活動によるキャッシュ・フロー	△167	379	
現金及び現金同等物の増減額	△244	180	
現金及び現金同等物の期首残高	2,473	2,222	
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額	77	—	
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,306	2,402	



注:2018年2月期第2四半期までは、旧パレモの数値を記載しております。

Corporate Data

企業データ

会社概要 (2019年8月20日現在)

社名	パレモ・ホールディングス株式会社
設立	1984年11月22日
資本金	1億円
本社所在地	〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅五丁目27番13号 名駅錦橋ビル6F
従業員数	2,724名(グループ含む) (ナショナル社員163名、エリア社員他2,561名)
事業内容	事業子会社の経営管理等
ホームページ	http://www.palemo.co.jp/

役員 (2019年8月20日現在)

代表取締役社長	吉田 馨
専務取締役	永井 隆司
取締役	福井 正弘
取締役	竹中 幹雄
取締役	永田 昭夫
取締役	赤塚 憲昭
常勤監査役	土田 新一郎
監査役	平岡 繁
監査役	今枝 剛
監査役	川口 直也

注:取締役のうち、永田 昭夫、赤塚 憲昭の両氏は社外取締役であります。
監査役のうち、今枝 剛、川口 直也の両氏は社外監査役であります。



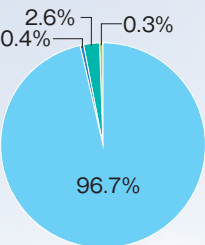
株式情報 (2019年8月20日現在)

発行可能株式総数	27,360,000株
発行済株式の総数	12,051,384株
単元株式数	100株
株主数	6,738名

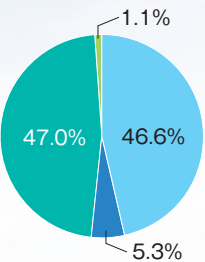
大株主 (2019年8月20日現在)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
エンデバー・ユナイテッド・パートナーズ・スリー投資事業組合 エンデバー・ユナイテッド・パートナーズ・ツー株式会社	5,481	45.48
個人株主A	1,191	9.88
個人株主B	588	4.88
株式会社SBI証券	348	2.89
パレモ従業員持株会	196	1.62
株式会社三菱UFJ銀行	130	1.07
個人株主C	110	0.91
個人株主D	95	0.79
個人株主E	75	0.62
松井証券株式会社	69	0.57

株主構成 (2019年8月20日現在)



株主数構成比	株主数	構成比
個人株主その他	6,513名	96.7%
証券会社・金融機関	28名	0.4%
その他国内法人	174名	2.6%
外国法人・個人	23名	0.3%
合計	6,738名	100.0%



株式数構成比	株式数	構成比
個人株主その他	5,611,574株	46.6%
証券会社・金融機関	640,131株	5.3%
その他国内法人	5,660,557株	47.0%
外国法人・個人	139,122株	1.1%
合計	12,051,384株	100.0%